



障害者支援施設
リアン文京

地域のことについて 話しませんか？

日時:2022年12月20日(火) 18:00~

場所:文京福祉センター江戸川橋
視聴覚室
文京区小日向2-16-15



リアン文京は文京総合福祉センター内にある福祉の事業所です。施設の中から飛び出して、地域の皆さんと一緒にまちの中の「みんなの居場所」を作っていきたいと考えています。この街のこと、今困っていること、こんなことできたらいいなということをぜひお聞かせください。事前の申し込みは不要です。当日会場にお越しください。

問合せ：東京都文京区小日向2丁目-16-15

社会福祉法人 武蔵野会 リアン文京

TEL：03-5940-2822 FAX：03-5940-2823

Eメール：nomura@team-lien.com

みなさんの想いを聞かせてください♪

「まちづくり」

一緒にお話ししましょう！

地域資源を一緒につくりましょう！

地域資源づくり始動

住民らと事業立ち上げ

障害者支援施設 リアン文京（東京・文京区）

社会福祉法人武蔵野会が運営する障害者支援施設「リアン文京」（東京都文京区）は地域資源の開拓に乗り出す。住民と共に利用者が養蜂やアートなど四つのプロジェクトを動かし、最終的にはNPO法人化して移管する。年齢や障害を問わない「こちゃまぜ」の器をつくり、主体的に地域課題に取り組みでもらうという。都市部における地域共生社会の一つの形がここにある。（飯島隆敏）

■ミツバチやアート

京総合施設長はこう強調した。

「これまでのノウハウを生かし、住民主体の地域をつくりたい」。10月末に開かれたキックオフイベント。関係者が一同に集まり、職員を置き、法人の利用者や地域住民を巻き込んでいく。中、山内哲也・リアン文京

費用は日本生命財団から2年で計400万円の助成を受けた。

企業タイアップや、無料通信アプリ「LINE」のスキル販売などで収益化も目指す。

■最終的にはNPO化

イベントプログラムは地域の祭りや保育所などとタイアップするもので、障害者が有償ボランティアとして運営。親子で乗れる「ミニバス」や、プラーレルな情報を提供する。一方、活動の広報を地域情報発信プロジェクトが担当。定期的な活動を取材して冊子を発行。区の委託で開いていた高齢者向けの「編集者養成講座」の修了生が中心だという。

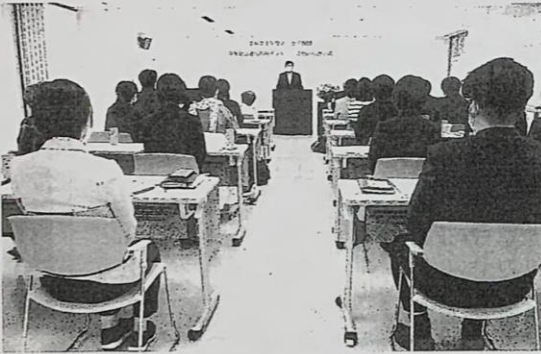
こうした四つのプロジェクトをつなぐのが「夢語り会議」だ。それぞれ状況を共有するもので、山内総合施設長は「自由に対話できる会議になれば」と話す。

時代を見据えて リアン文京は2015年に誕生した都市型複合施設に

武蔵野会

1948年、非行に走った18歳未満の子どもを受け入れる国立武蔵野学院の外郭団体として発足。現在、東京都千代田区、八王子市、大島町のほか、静岡県御殿場市などで児童養護施設や障害者施設、特別養護老人ホームなど25施設を運営している。高橋信夫理事長。

10月にキックオフイベントが開かれた



4つのプロジェクトを統合

